

第2学年美術科【美術史】学習指導案

平成22年11月17日第5校時

8組（美術科）39人

場 所 芸術棟デザイン室

指導者 宮 蘭 広幸

1 題材名

西洋の美術（海外研修事前学習）

2 学習目標

西洋の美術の変遷や歴史的背景などによる表現様式の違い、作品の傾向、作者の意図による作風についての理解を深め、伝統と文化を尊重する態度と新たな美術文化を創造していく基礎となる能力を高める。

3 評価規準

関心・意欲・態度	鑑賞の能力
美術と生活のかかわり、美術作品の背景や表現方法の特徴、西洋の美術の歴史などに関心をもち意欲的、主体的に鑑賞し、その楽しさや喜びを味わい、心豊かな生活を創造していこうとする。	作者の心情や意図と表現の工夫、生活や自然の中にある美しさや生活の中に働く美術の意義や価値、西洋の美術の歴史と表現の特質などを感じ取り、理解し美術作品のよさや美しさを創造的に味わう。

4 指導計画「西洋の美術」「美術文化」（「日本の美術」「東洋の美術」は3年次に履修）

月	学習項目	学習内容	主な到達目標
4月	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ●原始美術 ●古代の美術 	<ul style="list-style-type: none"> ○西洋美術の潮流と歴史的背景について ○海外研修について ○旧石器時代、新石器時代の生活と美術表現 ○エジプト、メソポタミア、エーゲ文明 	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の美術作品を鑑賞し、美術を幅広く学習する教科であることを知る。 ・海外研修の事前学習や研究の概要。 ・美術の始まりを考察し、美術表現の根本的な価値について考える。 ・3文明の美術作品を通して古代の人々の生活や考え方を想像する。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ●古代ギリシャ ●古代ローマ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ギリシャ美術と理想主義 ○ローマの美術と現実主義 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシャ美術が求めたものと人間尊重の世界観などについて考える。 ・彫刻での理想美の追求と人体比例。 ・アーチやドームの新しい技術の導入が建築に及ぼした影響をみる。

6月	● 中世の美術 <期末考査>	○ビザンチン様式 ○ロマネスク様式 ○ゴシック様式	・写実とは異なる中世の美術の特徴をキリスト教と結びつけて理解し, 宗教と美術の関係を考える。 ・石による大聖堂建立の歴史と石造建築技術について考える。 ・ゴシック様式の大聖堂に中世の人々の信仰心や表現の特徴をみる。
7月	●ルネサンス ●近世の美術	○イタリア初期 ○イタリア盛期 ○北ヨーロッパ ○バロック ○ロココ	・西洋美術の基本的な考え方や合理的な遠近法などの表現技術を理解する。 ・三大巨匠をはじめとする芸術家の個性や美術史への影響を考える。 ・時代背景のなかでルネサンスからバロックへの美術の変化を理解する。 ・バロックとロココの特色を知る。
9月	●近代の美術 (19世紀)	○新古典主義 ○ロマン主義 ○写実主義 ○印象派 ○新印象派 ○後期印象派 ○ロダン	・フランス革命後の近代を学び, そこに生まれる美術の変化を知る。 ・サロンから印象派への展開や個々の作品や作家について知り, 美術表現における個性の価値を考える。 ・後期印象派において明瞭になる美術の基本的な考え方を理解する。
10月	●現代の美術 I (20世紀前半) <校外美術鑑賞学習>	○フォーヴィスム ○表現主義 ○キュビズム ○ダダイスム ○未来派 ○バウハウス ○シュルレアリスム ○エコール・ド・パリ ○素朴派など	・新しい美術運動の意味を考え, 作家たちの激しい探求の精神を知る。 ・世紀末の時代背景を考えながら現代美術の広がり学ぶ。 ・建築やデザインと美術の関係に関心を広げる。
11月	◎海外研修事前学習【本時】 <期末考査>	* 調査の分担, 内容と計画 * 情報, 資料収集 * 美術館ガイド作成 * 調査発表	・研修先の美術館や鑑賞できる作品などについて分担して調査, 研究, 発表をする。 ・他の発表や教師の説明を参考にし, 研修先の予備知識を深める。
12月	<研修旅行> ◎海外研修事後指導	* ローマ・パリ研修 * 研修先での資料収集 * 鑑賞レポート作成	・研修先で鑑賞した体験を生かし, 印象に残っている作品の良さや美的感動を支えている構成や要素について研究しまとめる。

1 月	●現代の美術Ⅱ (20世紀後半) <学年末考査>	○ポップアート ○アンフォルメル ○抽象主義 ○ミニマリズム ○フルクサス ○概念芸術 ○ランド・アート ○ビデオ・アートなど	・現代の自由で個性的な表現に触れ、多様化した表現技法について学ぶ。 ・アメリカや新しい時代背景を学びながら、新しい表現への展開について考える。
2 月	●これからの美術	○コンテンポラリーアート ○メディアの多様化	・表現世界の拡大、伝統的分類では捉え切れない表現を知り、同時代人としてこれからの美術について考える。
3 月	●美術文化	○文化遺産について ○環境造形について	・生活環境や都市計画など社会と美術の役割や可能性を考える。 ・美術文化について理解を深め、主体的に意見をもち討論や論評ができる。

5 本時の実際（6/8 海外研修事前学習）

(1) 題材名

イタリアの大理石と彫刻作品
「バチカン美術館」「ボルゲーゼ美術館」

(2) 学習目標

- ・ボルゲーゼ美術館に展示されているベルニーニの彫刻や、バロック様式について理解を深める。
- ・大理石について知り、イタリアの彫刻作品について主体的に鑑賞しようとする興味や関心を高める。

(3) 評価規準

関心・意欲・態度	鑑賞の能力
ベルニーニの作品を主軸に作家の背景や表現の特徴などに関心を持ち意欲的に学習する。 彫刻材料としての大理石について理解し、彫刻表現への興味を深める。	彫刻など立体作品の表現技術や材料について制作の工夫を感じ取り、美しさや表現の特質について理解する。 主体的に鑑賞し、作品のよさや美しさを創造的に味わうための理解を深める。

(4) 研究テーマとの関係

美術史の学習と研修旅行事前学習を関連づけることによって、実際に経験する美術体験の効果と興味関心が高まり、自主的・主体的に学ぼうとする意欲をはぐくむ。

(5) 準備 (生徒)「美術鑑賞」秀学社, 美術館ガイド(自作), ワークシート

(6) 展開

指導過程	学習内容・活動	指導・評価方法
導入 (10分)	1, 前時の復習をする。 ○カラヴァッジョについての質問への回答を聞く。	・前時の質問に即答できない発表者は、本時の最初に回答させる。 ◆質問を理解し、調べて発表したか。
展開 (35分)	2, 本時の学習課題を確認する。 ○ボルゲーゼ美術館にバロック様式を代表する彫刻があることを知る。 3, ベルニーニと作品についての発表を聞き, 特徴を理解する。 ○《プロセルピーナの略奪》 1621-22 Bernini Gianlorenzo H. 255cm, White marble ○《アポロンとダフネ》 1622-25 Bernini Gianlorenzo H. 243cm, Carrara marble 4, 大理石と彫刻について知る。 ○カラーラ大理石について ○石彫の技法について ○大理石の作品について 《ダビデ像》ミケランジェロ 1504 Michelangelo Buonarroti H. 516cm, W. 5, 660 kg, Marble, (Galleria dell' Accademia) 《ラオコーン群像》 BC1 世紀後半(1506 出土) H. 184cm, Marble, (ピオ・クレメンティーノ美術館)	・ヨーロッパの地図を掲示し, ローマの概要を示し学習への関心を高める。 ◆教材などの準備ができているか。 ・ボルゲーゼ美術館の概要確認と彫刻について学ぶことを知らせる。 ◆再確認ができたか。 ・ベルニーニについて調べた生徒に概要を発表させる。 ◆作者の背景や作品について理解し, 主体的に捉えられたか。 ・ワークシートに感想をまとめ, 質問事項があれば記入させる。 ・イタリアの大理石について調べた生徒に概要を発表させる。 ・説明不足があれば補足説明する。 ・大理石の実物を示し, 特徴や技法などについて補足する。 ◆彫刻材料としての大理石について理解できたか。 ・彫刻についての発表を聞く。 ・ワークシートに感想をまとめ, 質問事項があれば記入させる。 ◆彫刻作品について理解し, 主体的に捉えることができたか。
まとめ (5分)	5, 他の彫刻作品についての情報を整理する。 6, 次時の予告と発表者の確認。	・他の彫刻作品や作家を紹介する。 ◆大理石について概要を理解し, ヨーロッパの石の文化への興味や関心が深まったか。 ・次時の学習計画を伝える。

